



「SERUとは何か」 教育の国際的な質保証に向けた 広島大学の取組み

SERUシンポジウム

2021年11月26日(金)

渡 邊 聡

広島大学・グローバル戦略アドバイザー、
客員教授(高等教育研究開発センター)

発表内容

- I. 「SERU」とは？
- II. 広島大学内での位置付け
- III. アンケートの構成
- IV. 今後の課題



I. 「SERU」とは？

- “Student Experience in the Research University”
- カリフォルニア大学システムの学部生活動調査 (UCUES) がモデル
- 世界の研究大学における学生アンケート調査をベースとした国際コンソーシアム
- 教育の改善、IR等への対応
- 目標回収率は25% (広大38%)
- 数万人単位の個票データ
- データ・分析結果の共有
- 加盟校間のベンチマーキング



SERU国際コンソーシアム



- SERU-AAU (Association of American Universities) コンソーシアム
- SERU-I (International) コンソーシアム

- カリフォルニア大学バークレー校に研究(戦略)本部、ミネソタ大学に事務局(SERU-AAU)を設置



SERU-AAU加盟校

- カリフォルニア大学システム
（サンフランシスコ校を除く）
- ラットガーズ大学
- フロリダ大学
- ミシガン大学アナーバー校
- ミネソタ大学
- オレゴン大学
- ピッツバーグ大学
- テキサス大学オースティン校
- ノースカロライナ大学
- バージニア大学
- テキサスA&M大学
- アイオワ大学
- パードュー大学
- ワシントン大学
- 南カリフォルニア大学（私立）



SERU-I加盟校

- カンピナス州立大学(ブラジル)
- 湖南大学(中国)
- 南京大学(中国)
- オックスフォード大学(イギリス)
- ブリストル大学(イギリス)
- ケープタウン大学(南アフリカ)
- ルンド大学(スウェーデン)
- アムステルダム・ユニバーシティ・カレッジ(オランダ)
- HSE国立研究大学(ロシア)
- 大阪大学(2013年加盟)
- **広島大学(2014年加盟)**

II. 広島大学内での位置付け

- 2014年「スーパーグローバル大学創成支援 (SGU) 事業タイプA」に採択
- 教育の国際的な質保証に向けた取り組み
- エビデンス(データ)に基づいた教育改善



SGU関連資料から

4. 国際通用性の高い教育を提供する

実績・現状

■ 広島大学独自の到達目標型教育 HiPROSPECTS
平成18年度から全国に先駆け実施（英国QAA*ルーブリックを参照）

*QAA：Quality Assurance Agency for Higher Education

■ 5年一貫大学院リーディングプログラム
放射線災害復興フェニックスリーダー
たおやかで平和な共生社会リーダー

■ 教育の内部質保証 全教育プログラムを評価・検証

課題1

国際的視点からの教育の質保証が不十分

取組1

教育の国際質保証

- 世界的研究大学コンソーシアム（SERU）による教育の国際質保証
 - 広島大学の提案・主導で開始 -
(SERUが蓄積するデータ・知見を活用)
- 連携大学間で学術領域毎の教育国際ピアレビュー
- 国際的に質の保証されたルーブリック、GPAハイブリッド評価



成果指標

博士授与件数

76件(H24)

1,100件(H35)

SCI論文数

1,726報(H24)

5,400報(H35)

課題2

学生の主体的学習が不十分

取組2

質の高い学修時間の確保

- 階層的TA制度により、学生の密度の濃い学びをサポート
- 海外研究者を含む複数指導教員体制により論文指導を強化（eラーニングポートフォリオ）
- 英語によるPBL、反転授業等のアクティブラーニングを全学導入
- 国際主要学術誌に研究成果論文公表(ライティングセンター)

SERU担当チームの設置

- SERU(教育の国際質保証)WGを設置
 - SERU-AAU及びSERU-Iコンソーシアム加盟校・事務局との連絡・調整
 - 英i-graduate社との連携
 - SERUコンファレンスへの参加
 - 学内での導入・実施
 - データ分析



III. アンケートの構成

1. 調査方法

ウェブ・アンケート調査

SERU-I調査については、英i-graduate社が回収・管理

2. 質問内容

(1) パンデミックより以前の調査内容

(2) 現在の調査内容

2020年11月 リニューアル

III. アンケートの構成

2. (1) パンデミックより以前・・・

広島大学
2018年度実施

5つのモジュール(質問項目群)

1. SERU加盟校共通コア・モジュール
2. Academic engagementモジュール
3. Global experiencesモジュール
4. Civic engagementモジュール
5. Community engagementモジュール

回答
所要時間

およそ
45分

III. アンケートの構成

2. (2) パンデミックを受けて・・・

2020年 5月～7月 (アメリカ中心)

- ・従来型とは別にCOVID-19 Special Survey開発、そして実施

2021年1月以降 (世界)

- ・従来型を改訂

コロナ禍における学生の経験を調査

- メンタルヘルス、リモート形式の授業に関する質問 追加
- 回答所要時間を25分程度にカット



回答率向上 & 学生の負担削減

広島大学
2021年1月実施

世界の研究大学とベンチマーキング

国際ベンチマーキングの難しさ

- カリキュラムの違い(例:卒論ゼミ)
- システムの違い(例:医歯薬学部)
- 専攻分野による違い(例:ラボでの実験は教育?研究?)
- アンケート回答に対する意識・文化の違い(例:控えめの文化)



IV. 今後の課題

- 前回実績を超える回収率
- 学内でのフィードバック方法の確立
- “アンケート疲れ”の軽減・効率化
- 既存の学生生活実態調査との協力





V. ご清聴ありがとうございました。



SERUに関するお問い合わせは、渡邊 (Satoshi.P.Watanabe@asu.edu) または
広島大学グローバル化推進室 (g-initiative@office.hiroshima-u.ac.jp) まで。